

質問 数年前に遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（HBOC）と診断されたために、乳房を切除し、卵巣、卵管を摘出する手術を受けて話題となりました。HBOCについて詳しく教えてください。

遺伝性乳がん・卵巣がん症候群とは



森本 雅美
徳島大学病院 食道・乳腺甲状腺外科助教

回答 がんの発症は、環境

要因と遺伝要因が関係していると考えられ、どちらの要因が大きな役割を占めるかはそれぞれのがんで異なります。

特定の遺伝子が原因で発症する乳がんは遺伝性乳がんと呼ばれます。最も代表的なのがHBOCで、乳がん全体の3〜5%です。BRCA1とBRCA2という2種類の遺伝子が原因として知られています。

遺伝子は二つが対になっていて、通常は一方の遺伝子が損傷（変異）しても、もう一方の遺伝子が正常なら、がん化しません。ところが、もう一方の遺伝子も変異すると、がん化が始まります。HBOC患者は生まれつきBRCA1または

若年で発症の可能性



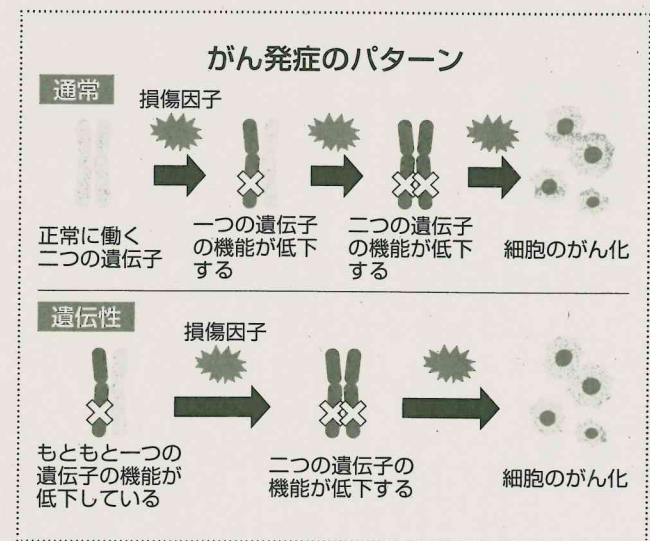
BRCA2の1対の遺伝子のどちらかが変異しているため、若年でがんを発症するのです。

BRCAの遺伝子変異は親から子に50%の確率で受け継がれます。親が乳がんを発症した人、卵

巣がんの人、乳がんを2回以上発症した人、男性乳がん発症者がいる人、乳がん発症者が3人以上いる人、他の症例と比べて予後が悪いとされるトリプルネガティブ乳がんの人がいる場合は、HBOCである可能性が高いと考えられます。

HBOCでは温存療法後の乳房に再発するリスクが高くなる可能性があり、患者が固辞しない限り乳房切除を勧めます。がん発症に対しては予防手術が効果的です。予防的な乳房切除で乳がんの発症リスクが90%以上減少します。予防的な卵巣・卵管の切除では卵巣がんや乳がんの発症リスクが減少し、生命予後が改善するとされています。しかし、日本では発症前の医療に対する保険制度がまだありません。

乳がんや卵巣がんの遺伝が気になる人、HBOCの詳しい情報については担当の医師や看護師に相談してください。



予防的切除でリスク減

（第4土曜掲載）

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
〈電088(634)6442〉
（平日午前8時半から午後5時まで）

